

日本の未来を見据えて撃つ！
そんなあなたにホットな話題をお送りする
最先端オピニオン紙

日本シティジャーナル

発行: ネットハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉 14-3
TEL 0476-89-2333 FAX 0476-89-2334
[平日] 10:00~19:00 [土曜] 12:00~17:00
<http://www.nihoncity.com>
成田市、佐倉市、印西市、富里市、香取市、山武市、船橋市
千葉市(花見川区、美浜区)、習志野市、八千代市、四街道市
酒々井町、栄町、小林、安食、多古町、横芝光町、芝山町、神崎町
発行部数: 500,000部

改訂版「かごめかごめ」の真相にせまる

ヘブライ語で古代日本の文献を解説していくにあたり、読者からのリクエストで一番多く見受けられるのが、「カゴメの歌」もしくは「かごめかごめ」と呼ばれる歌です。この童謡に纏わる逸話は枚挙に暇がなく、テレビなどでもその不思議な背景が話題として取り上げられています。確かに「かごめかごめ」の歌詞は不可解であり、「夜明けの晩」「鶴と亀」「後ろの正面」など、奇妙な表現が含まれています。しかし言葉の意味が不透明であるにも関わらず、「かごめかごめ」は昔から日本の学校教育にも取り入れられ、大勢の人に親しまれてきました。このような不可解な歌詞が、長い歴史の中で何ら問題視されずに歌われ続けてきたことに、驚きを隠せません。

子供の頃、「かごめかごめ」と手をつないで歌いながら、目を塞いでしゃがんでいる友達の周りを歩きまわり、最後に「後ろの正面、だーれ?」と歌って、後ろにいる人の名前を言い当てる遊びをしたことを覚えているでしょうか。鬼に選ばれた友達が囲むというこの遊びから、「カゴメ」の語源は、「囲む」ではないかという説も生まれました。「囲む」の命令形にあたる「かごめ」は中世の時代、「かごむ」と濁音を入れて記載されることもあったことから、後に「カゴメ」と発音されるようになったとも考えられます。

「カゴメ」とは漢字で「籠目」とも書き、その言葉から三角形を二重に重ねた形をしたカゴメ印を想像する方も少なくありません。カゴメ印の由来には定説はなく、一説には竹で編んだ籠に見られる格子状の籠目の形や、六角形をした亀(カメ)の甲羅模様から、これらが原型となり、最終的に六芒星の形になったのではないかとされています。そのカゴメ印は江戸時代、籠目紋として家紋にも使われました。さらに大正時代ではケチャップで有名な



カゴメ株式会社の商標(大正時代)

カゴメ印とイスラエルを関連付けた話題にも注視する必

要があります。イスラエル国旗に描かれているダビデの紋は、カゴメ印と同じ三角形を2重に重ねた六芒星です。この特異な形状の印をダビデの紋と共有するだけに、イスラエルにそのルーツがあるという説を支持する人も少なくないようです。さらに「籠の中の鳥」という表現が、モーセの時代に作られた「契約の箱」、聖櫃を意味しているという説もあります。旧約聖書には、その箱の中に神の息吹によって書かれた聖なる十戒の板が保管され、箱の上にはケルビムと呼ばれる鳥の形をした2体の護り神が向き合っており、聖なる箱を守護したことが記載されています。そこに「かごめかごめ」との類似点を見出すことができるのです。

ところが、これだけカゴメ印とイスラエルとの関連説が囁かれ、ダビデの紋との共通点が指摘されているにも関わらず、カゴメ印に結び付く歌の中でも有名な「かごめかごめ」のヘブライ語ルーツについては、これまで検証されることなかったようです。もし、カゴメ印のルーツがダビデの紋にあるならば、「かごめかごめ」の歌詞もヘブライ語で書かれ、日本語とは異なる意味が、原語に含まれている可能性があるのではないのでしょうか。

そこで、ヘブライ語の辞書を片手に「かごめかごめ」に含まれる日本語の発音に類似したヘブライ語の存在を確かめ、それらの言葉の繋がりから意味のある文脈を見出すことができました。すると、これまで日本語の歌として考えられていた「かごめかごめ」が、ヘブライ語でも読めるだけでなく、そこには、衝撃のメッセージが含まれていたことがわかりました。



イスラエル国旗

カゴメとは「囲む」のヘブライ語

「かごめかごめ」の歌詞に含まれるヘブライ語は「カゴメ」だけにとどまらず、歌全体をヘブライ語で読むことができます。しか

もヘブライ語で読む「かごめかごめ」には一貫したメッセージが込められており、歌全体のモチーフが自然に読み取れることからしても、ヘブライ語説の信憑性はもはや、簡単に否定できません。早速、ヘブライ語で「かごめかごめ」を読んでみましょう。

まず、「かごめ」という言葉に注目です。「カゴメ」という言葉は、「囲む」「護衛する」を意味する **חגור** (khagor、カゴー) と、「誰」「何」を意味する **מי** (mi、ミー) という、二つのヘブライ語から成り立っていると考えられます。発音は合わせて「カゴミー」となり、「カゴメ」と類似した発音になります。すると、ヘブライ語で「カゴメ」の意味は、「何を囲むのか?」「何が守られているのか?」「誰を守るのか?」となります。「カゴメ」という言葉には、何か大切なものを護衛したり、それを塞いで隠蔽するようなことに関連するメッセージが含まれている可能性が見えてきました。

昔から子供達が「かごめかごめ」を歌う時、みんなで手をつないで輪になったのも、もしかして、大切な何かを「囲む」という意識が芽生えた結果なのかもしれません。遊戯の要点は、目隠しされた鬼を子供たちが「囲み」、鬼の背後の友達が誰であるかを言い当てることです。それ故、「カゴメ」という言葉には、大切なものを囲み、それをみんなで守るという意味が含まれていたのではないのでしょうか。

「かごめかごめ」遊戯のもうひとつの大切なポイントは、囲まれている鬼の姿です。目隠しされて目が見えなくなってしまう鬼とは、囲まれて守られている中心的な存在が、いつの間にか人の目から隠されてしまうことを象徴しているとも考えられます。鬼は神仏に関わる存在ですから、鬼が目隠される姿とは、神格化された大切なものが隠されてしまうという、一種の神隠しのような状態を表現していたのでしょうか。「カゴメ」はヘブライ語で「何を囲むのか」という意味であるという前提で考えると、この目隠しの遊びの背景には、何か大切なものが囲まれて隠されるという状況が考えられていたのかもしれない。

古代社会において最も大切な

ものが、神宝でした。日本の歴史においても三種の神器に代表される神宝は、歴史の流れに多大なる影響を与えたほど重要な位置を占めています。よって「かごめかごめ」の歌の背景に神宝の存在があっても、決して不思議ではありません。そして一歩踏み込んで、「かごめかごめ」をヘブライ語で読んでいくと、そこには紀元前7世紀のはじめ、イスラエルの歴史から消え去った「契約の箱」に収納されていた神宝に関わるメッセージとしか思えないような表現が含まれていることに気が付きます。果たして、「かごめかごめ」のルーツは、イスラエルにあるのでしょうか。

「かごめかごめ」では、「かごめ」を繰り返して歌った後、「籠の中の鳥」が「いついつ出会う」と歌います。この言葉からは、2羽の鳥の存在が浮かび上がり、また「籠の中」という表現からは、何かが「囲まれ」「封じ込められ」ているような気配を察することができます。この2羽の鳥は、契約の箱の上に飾られたケルビムと呼ばれる鳥の形をした2体の守護神を指していると考えられないのでしょうか。すると、「いついつ出会う」とは、それまで隠されていた神宝の秘蔵場所が明らかにされ、守護神のケルビムが再び現れて互いに出会う日を待ち遠しく思う気持ちを、遠まわしに述べた歌とも解釈できるのです。「かごめかごめ」は、日本語とヘブライ語という2つの言語、どちらでも読むことのできる歌であり、折り句のように二重の意味を含む歌として創作されていた可能性に驚きを隠せません。

封じられていたのは神宝か!

ヘブライ語を用いて「かごめかごめ」の歌詞を読み続けてみましょう。「籠の中の」は「カゴ・ノ・ナカ・ノ」という4つのヘブライ語で形成された言葉です。まず「籠の」は、「囲む」「護衛する」を意味する **חגור** (khagor、カゴー) に、「鍵をかける」または「閉じ込める」を意味する **נעל** (noel、ノエ) を合わせ、「カゴー・ノエ」となり、「囲んで閉じ込める」「守護して封印する」ことを意味します。次に「ナカノ」は、「置かれた」「そこにあった」を意味する **נח** (nakh、ナカ) に、「ノエ」の語尾を足して「置いて鍵をかける」、または「安置して閉ざした」を意味します。つまり、「籠の中の」はヘブライ語で、「守護して封印



かごめかごめの遊戯

し、安置して閉ざした」と解釈できます。これはまさに大切な神宝が、どこかに秘蔵されたことを指していると考えられます。

続く「鳥は」は、「取り外せ!」の意味を持つ **תוריד** (torid、トリー) という言葉と、「そして」を意味する接続詞の **ו** (va、ヴァ) を合わせたヘブライ語が語源であると考えられます。「トリー」には強い命令形としての意味合いがあり、「取り外せ!」「下ろせ!」という思いが込められています。すると「籠の中の鳥は」の意味が、ヘブライ語で明確に浮かび上がってきます。それは、「守護して封じ、安置して閉ざされていた物を取り出せ!」という命令文だったのです。「取り下ろせ!」というヘブライ語は、高い所にあるものを外す、あるいは下ろす、という主旨が含まれることから、封じられていた物は高い位置にあったと推測されます。それ故、守護されている物が神宝と想定するならば、それらが秘蔵されていた場所は、山上のような標高の高い場所にあったと考えられます。大切な神宝が人目のつかぬ山奥に安置され、その場所が長らく守られてきたからこそ、「取ってきて下ろせ!」「取り出せ!」「取り外せ!」という言葉が使われたのではないのでしょうか。

しかしながら、そこにはひとつの重大な問題が存在しました。それは、聖なるご神体とも言える神宝に一体誰が、手をかけるのかということです。ご神体に触れることは危険極まりなく、神宝に不用意に触ろうとした人は神の怒りに触れ、死去したことさえ旧約聖書に記載されています。周りを囲まれている鬼とは、誰も触れることができない神宝の象徴とも考えられます。そのような聖なる神宝を大切に守ろうとする思いが「かごめかごめ」に込められているようです。いったい誰が、その神宝を守るのでしょうか。いよいよ「かごめかごめ」の真相が解明される時がきました。

聖なる神宝を取り出して新しい聖地に遷すことは困難を極めたプロジェクトでしたが、それでも決行されなければならなかったのは、政変や疫病の流行に伴う治安の次頁に続く

悪化など、既存の統治下において神宝の存在が脅かされてしまうような緊急事態が、その背景にあったと推測されます。そして当時、霊峰の山頂付近に安置されていた神宝は、それらが囲まれて収められていた「籠」とも言われる収蔵庫の中から取り出され、別の場所へと遷されることになったのです。

恐ろしい火の裁きについての証言

直後、これまで神宝が収蔵されていた山頂周辺一帯には、とてつもない災害がおきたようです。その緊迫した状況が、「籠の中の鳥は」の後に続く「かごめかごめ」の歌詞の中で説明されています。それまで宝物を収めるために用いられていた神の箱や、その周辺一帯の山までもが、丸ごと焼かれてしまうという、厳しい神の裁きが定められていたことを、ヘブライ語の歌詞から読み取ることができます。

「いついつ」という歌詞は、ヘブライ語で「火を付ける」を意味する **הִצִּיט** (hitsit、ヒツィ) が語源です。それを繰り返すことによって、燃やさなければならなかったことが強調されています。つまり「いついつ」とは、「火を付ける、燃やせ!」という命令の言葉だったのです。これは、火による神の裁きを象徴する表現として捉えることができます。

「かごめかごめ」の歌詞をヘブライ語で読み続けると、そこには裁きの深刻さについて、更に言及されています。「であう」はヘブライ語で、収納庫、容器、家を意味する **דִּיּוּר** (diyur、ディユウ) です。「ディユウ」の発音は、日本語の「出会う」と類似しているだけでなく、その意味は収納庫、もしくは箱であることにも注目です。その言葉に神を意味する「ヤ」

または「よ」と読む漢字の「夜」を加えて「ディユウ・ヤ」とすると、「神の箱」「神の社」の意味になります。そして「明け」は **אָקַר** (akar、アカー) というヘブライ語で、「根絶する」を意味します。つまり、「出会う夜明け」はヘブライ語で、「神の箱を根絶する」「神の社を根絶やしにする」ことを意味していたのです。何という恐ろしい言葉ではないでしょうか。つまり、火を付けて燃やす対象は、神の社、もしくは神の箱だったのです。「ヒツィ・ヒツィ・ディユウ・ヤ・アカー」というヘブライ語は、「火をつける、燃やせ、神の社を根絶せよ!」という裁きの言葉であったことがわかります。

「かごめかごめ」の歌詞については、その歌詞に呪いのような怖い意味が含まれていると、昨今のメディアでも報道されることがあります。単に内容が謎めいているだけでなく、実際には人を震撼させるような恐怖のストーリーがその背後にあるというのです。根拠はともあれ、その指摘は決して間違いではなかったようです。ヘブライ語による「かごめかごめ」の中核となるメッセージは神宝です。それら神宝が収蔵場所から取り除かれた直後、神宝が安置されていた収納箱や、社の周辺一帯が火によって焼かれてしまったことを、「かごめかごめ」は証しているようです。その収納箱がもし、イスラエルの契約の箱であったとするならば、人類の歴史に大きな影響を与える一大事であったこととなります。

神宝の収納箱が焼かれるという背景には、神の社にて長年、不信仰な行いが蔓延し、神の怒りを行ったことが原因ではないかと推測されます。神の怒りに触れて聖絶され、根絶やしになった町、

村、都市の事例は、聖書にも数多く記載されています。大きい町ではソドムとゴモラが火で焼かれてしまった話が有名です。その他、不信仰の罪より、古代イスラエルにおいてもエルサレムの町に火が放たれ、国家が壊滅した歴史について記録が残されているだけでなく、イスラエル周辺の国家でも、幾度となく不信仰な民は神の裁きにあい、滅ぼされたことが旧約聖書に記載されています。

同様の出来事が、「かごめかごめ」の背景に存在していたのではないのでしょうか。山上国家の聖地に収蔵されていたと想定される大切な神宝は、一旦、そこから取り出されて保護され、山から下ろされるやいなや、直後、「根絶やしにせよ!」という聖絶の命令が実行に移されたのです。そして神宝が取り除かれた後の社を含む、山頂の近郊一帯に火が付けられ、山々は丸ごと燃え尽きたのです。これまで国家統治と権力のシンボルでもあった山頂の聖地が、神の裁きを受けて消滅したことを、「かごめかごめ」は証していたのです。

救いの道を示すお守りの岩

その火による裁きの後、何が起きたかを、次の「晩に鶴と亀が滑った」という歌詞が綴っています。「晩に」は、ヘブライ語で「造られた」「建てられた」を意味する **בָּנָה** (banah、バナ) の未来形となる「バニティ」が多少訛った言葉と考えられます。では一体、何が造られることになったのでしょうか。答えが「鶴と亀」です。「鶴」はヘブライ語の **צִוְר** (tsur、ツウ) であり、「岩」を意味します。「亀」は「お守り」を意味する **קַמֵּא** (kamea、カメア) です。よって、「鶴」と「亀」を合わせると「お

守りの岩」という意味になります。このお守りとは原語の意味から察するに、大きな岩を削って造られた建造物のようなものであり、磐座のような存在ではなかったかと推測されます。すると、「晩に鶴と亀」はヘブライ語で、「お守りの岩が造られた」と理解することができます。

続く「滑った」には2通りの解釈があり、その理解に沿って、直後の「後ろの正面だーれ」の意味も大きく変わります。「滑った」を「被害を受ける」を意味するヘブライ語の **סוּבַל** (sovel、スーベル) の語尾を変化させた未来形の **סוּבֵלֶת** (sovelet、ソベレット) という言葉で捉えると、前述した「鶴と亀」と合わせて、「お守りの岩が造られ、傷つけられる」、という意味になります。この場合、磐座のようなお守りの役割を果たす岩も、神宝が秘蔵された場所の周辺にあったことから、周辺一帯が焼かれるという事態により大きなダメージを被ることになったと理解できます。よって「晩に鶴と亀が滑った」の意味は、「造られたお守りの岩も(火による)被害を受けた」となり、神の裁きによる結末に関わる貴重な証言となります。

もう一つの解釈は、「滑った」を、ヘブライ語で「水を引く」「水を出す」を意味する **שׁוּאֵבֶת** (shoebet、ショエヴェ) とし、「お守りの岩」の意味である「鶴と亀」と合わせて理解することで、すると、「晩に鶴と亀が滑った」の意味が一変して、「お守りの岩を造り水を引く」または、「水が出るお守りの岩を造る」という意味になります。これは、水が溢れる場所において、お守りとなる岩が切られて造られたということではないのでしょうか。どちらの解釈を採用するかは、

「かごめかごめ」の最後の文言である「後ろの正面、だーれ?」を如何に理解するかによることとなります。

「かごめかごめ」の歌の中で一番不可解な歌詞が、「後ろの正面、だーれ?」です。誰もが知っている歌詞でありながら、日本語での理解が困難な言葉ではないでしょうか。そのまま読むと、背面と正面とが相まみえた支離滅裂な表現であるようにしか考えられないため、この歌詞の解釈については、これまでも様々な憶測が飛び交っています。鬼の真後ろに誰がいるかを言い当てるための遊戯の歌詞であるとか、現世と神の世界の目には見えない通り道であることを示唆する、または、お寺の正面の後ろに葬られた人物を指すとか、あげくの果てには遊女の次の相手の意味するだの、その解釈は様々です。しかしながら、どれも納得のいく説明ではありません。

「後ろの正面、だーれ」もヘブライ語に置き換えて読むことにより、その言葉の意味だけでなく、「かごめかごめ」全体の文脈と主旨を無理なく理解することができます。前文までは、大切な箱に収納されていた「神宝」が取り出され、その後、神の箱と周辺一帯が焼かれたことが言及されています。そして、お守りとなる岩が切られて磐座が造られたのです。その結果が「滑った」という言葉に集約され、その磐座が「被害を受けた」、もしくは、そこから「水が湧き上がる」という解釈に繋がります。どちらの意味を選ぶかは、続く「後ろ」という歌詞を、ヘブライ語で「見捨てられる」の「フーシャー」か、「(地域を) 支配する」を意味する「フシュラツ」という2つの相反

ゆったり座れて コンパクト

感動リクライニングチェア!

無段階調整式



RC18BK ¥19,800
(税込 ¥21,384)

- 素材: [前] ソフトレザー (ポリウレタン)、[後] PVC
- 色: [張地] ブラック、[脚部] ナチュラル
- 幅 750×奥行き 800-1,455×高さ 985-855mm
- リクライニング: 無段階式

上質の本革チェア

耐久性に優れた本革仕様の
ハイエンドモデル



RC33 ¥32,800
(税込 ¥35,424)

● 色: 全2色 (ブラック、カーキ)
● 幅 765×奥行き約 880-1,180×
高さ 870-1,020mm 座面高 455-490mm
*360度回転可能 *足乗せオットマン付き

しっとりとした高級感溢れる
本革の張り地



RC35 ¥33,800
(税込 ¥36,504)

● 色: 全2色 (ブラック、カーキ)
● 幅 820×奥行き約 900-1,140×
高さ 880-1,000mm 座面高 450-500mm
*360度回転可能 *足乗せオットマン付き

本革のなめらかで
快適な座り心地



RC37 ¥34,800
(税込 ¥37,584)

● 色: 全2色 (ブラック、カーキ)
● 幅 815×奥行き約 800-1,250×
高さ 780-960mm 座面高 420-450mm
*足乗せオットマン付き

この他、多数商品を取り揃えております。
お得なセール情報も満載!
是非ファニチャーハウスの
WEBサイトをご覧ください。

携帯電話からはコチラ!

www.furniturehouse.co.jp

※ショールームは現在準備中です。
何卒、ご了承下さい。

ファニチャーハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
ご注文・お問合せは、WEBサイト・電話・ファックスから
www.furniturehouse.co.jp

TEL: 0476-24-5111
FAX: 0476-24-5112

営業時間
平日 10:00~19:00
土曜 12:00~17:00

送料・お支払い方法・発送時期などについては、お問い合わせください。
お客様のご都合によるキャンセル・返品は承っておりません。
※掲載している価格は2015年12月現在のものです。最新の価格はファニチャーハウスWEBサイトにてご確認ください。

する言葉のいずれかを選択することで、決定付けられます。

まず、「晩に鶴と亀が滑った」を、「お守りの岩が造られ被害を受けた」の意味で解釈するシナリオを想定してみましょう。この場合、続く「後ろの」の意味はヘブライ語で、場所や物が「見捨てられる」「放置される」を意味する言葉の **הושאר** (hushar、フーシャー) が語源となります。「正面、だーれ」の「正面」は、ヘブライ語で **שומם** (shomem、ショーメ) と書き、人の住まない僻地や荒地を指します。この文脈の流れに沿うと、「だーれ」はヘブライ語の **דלך** (dalak、ダラック) となり、「焼かれた」という意味です。すると「正面、だーれ」はヘブライ語で、「焼かれた荒地」「焼け野原」となります。そこに「放置された」を意味する「フーシャー」を合わせると、「焼かれた荒地は放置された」と理解できます。つまり、「晩に鶴と亀が滑った。後ろの正面、だーれ」をヘブライ語で、「お守りの岩も造られたが被害を受け、焼かれた荒地は放置された」と読むことができる訳です。これが悲劇のシナリオです。

また、「後ろの正面、だーれ」を前向きに解釈することもできます。「晩に鶴と亀が滑った」を、「水が出る岩でお守りを造る」と理解する流れに沿って、神の裁きの後、復興の予言が語られたと考える訳です。この場合、「後ろの」はヘブライ語で「地域を支配する」を意味する **הושלט** (hushlat、フシュラツ) と解します。そして「正面」は前述のとおり「僻地」「荒地」とし、最後の「だーれ」はヘブライ語で「水を引く」の **דלה** (dalah、ダラー) とします。「だーれ」は紙一重で「焼

かれた」を意味する **דלך** (ダラック) と、「水を引く」 **דלה** (ダラー)、どちらもほぼ同じ発音を持つ言葉になってしまうことがわかります。その「だーれ」を水源に関する「水を引く」と解することにより、「後ろの正面、だーれ」は、「荒地に水を引き支配する」という意味になります。この解釈は、前文の「水が出る岩」と水の枯れた「荒地」の存在を自然に結び付けることにも注目です。こうして「晩に鶴と亀が滑った」と合わせてヘブライ語で読むと、「水が湧くお守りの岩を造り、荒地に水を引いて支配する」と自然に理解できるのです。

二つの異なる読み方がヘブライ語で存在しますが、「かごめかごめ」の歌詞が、神の社が焼かれてしまうという単なる裁きに関わる呪いの言葉で終始するとは考えづらいことから、「水が湧くお守りの岩を造り、荒地に水を引いて支配する」という未来志向の解釈を優先して理解するべきでしょう。「かごめかごめ」の歌詞全体の流れから察するに、神宝が取り出された後に火が付けられた訳ですから、そこから逆戻りして「焼かれた荒地」の話に舞戻るよりも、取り出された神宝に関する次の展開が記されたと考えの方が、より自然に読み取れます。また、焼かれるというテーマに終始するよりも、火による裁きと水による清め、という前後のコントラストが目論まれたと想定できることも、未来志向が優先される理由です。神宝が取り除かれた後、神の裁きにより山は焼かれてしましますが、その怒りの火を癒す水が存在し、次世代への希望へと繋がるのが、「かごめかごめ」のメッセージの中に残されているように考えられるのです。

「晩に鶴と亀が滑った、後ろの正面、だーれ」という難解については、2つの全く異なる解釈が存在することがわかりました。それは、「造られたお守りの岩も被害を受け、焼かれた荒地は放置された」という、神の裁きによる結末と受け止めることができるだけでなく、「水が湧くお守りの岩を造り、荒地に水を引いて支配する」という、未来志向の意味にも理解できるのです。もしかすると、「かごめかごめ」の歌詞には当初から、ヘブライ語の折り句として二通りの意味を重ねることが目論まれたのかもしれませんが、ヘブライ語ではどちらの意味にもとれるような日本語の発音を持つ言葉が見出され、それを歌にしたのかもしれませんが、その場合、「かごめかごめ」の歌には、日本語と合わせて三つ巴の意味が含まれることになり、とてつもない創作意欲とノウハウが求められたことでしょう。いずれにしても、「かごめかごめ」の歌には、裁かれて焼かれた山の結末が語られていただけでなく、神宝が水源豊かな場所に遷され、お守りの岩が造られて支配されたことも、ヘブライ語で同時に告げられていたのです。

古代史の真相を解き明かす霊歌

「かごめかごめ」の歌詞の意味は重大です。そこにはヘブライ語で次のように書かれていたのです。

何が守られているのか？
誰が守られているのか？
守護されて封印し、安置して閉ざされていた神宝を、取り出せ！
そして、火を付けろ！燃やせ！
神の社を根絶せよ。
水が湧くお守りの岩を造り、荒地に水を引いて支配せよ

古代、日本ではいつの日も、神宝が大切に扱われていました。そのルーツには、イスラエルの契約の箱や、その中に収蔵されていた神宝が関わっていた可能性があることは、別章で解説しているとおりです。もしかすると、「かごめかごめ」の歌は、それらイスラエルの神宝について、ヘブライ語で証していたのかもしれない。後述するとおり、「かごめかごめ」の舞台は四国の剣山と考えられ、剣山界隈にはイスラエル・ルーツの伝承が多いことからしても、更なる検証を必要としています。いずれにしても、ヘブライ語で読む「かごめかごめ」のメッセージは、神宝の行方について語っているようです。

世界が注目すべきユダヤの象徴である神の「契約の箱」の到達点が日本であり、その中に秘蔵された神宝について、もし、「かごめかごめ」が歌っているとするならば、私たちは知らぬうちにこの童謡を歌いながら、神宝の行く末について語り継いでいたことになりそうです。そして「さくらさくら」の創作者が空海であると考えられるように、同じく3連の言葉を重ねた「かごめかごめ」も、次章で解説するとおり、空海作品である可能性があります。

誰もが知っている「かごめかごめ」は、古代日本の歴史の謎を解き明かすためのヒントを私たちに語り継ぐために、空前の知恵を用いて創作された、極めて重要な霊歌だったのです。

四国の剣山が歌の舞台か？

「かごめかごめ」の歌詞をヘブライ語で読むと、そこには神宝が聖地から取り出された後、地域一帯が火で焼かれたことが記されていました。その歌詞から伝わる

メッセージには、実際にあった出来事を後世に伝承するために書かれているようなニュアンスが込められています。もし、「かごめかごめ」が過去の史実を証していたとするならば、その場所が日本のどこかに存在したはずで、その舞台に相応しい要素を兼ね備えているのが、四国の剣山です。

剣山界隈には古代からイスラエルルーツに纏わる伝承が各地に残されています。ユダヤの秘宝が剣山頂上に埋められているという噂は絶えず、隣の東祖谷村ではソロモンの秘宝と言われる契約の箱が剣山に隠されているといひ伝えられてきました。剣山の麓近くの石尾神社には金の鳥が埋蔵されているという話など、各地にイスラエルの神宝に関わる伝承が残されています。また、神明神社のように古代イスラエルの祭祀場に類似した形状の遺跡も存在します。

剣山の頂上近くには、鶴石、亀石、そして宝蔵石と呼ばれる3つの大きな岩石が存在することにも注目です。剣山は山自体が「鶴亀山」とも呼ばれることもあり、「かごめかごめ」のテーマと一致します。また、剣山周辺の山々は古代、山焼きの被害に遭遇したとしか考えられないような痕跡が残されていることも、歌詞が証する結末と一致します。

そして剣山と神宝の関連性を決定づけるのが、元伊勢の御巡幸です。レイラインと呼ばれる仮定の直線上において、全ての御巡幸地は剣山と繋がっています。そこには御巡幸の最終目的地が剣山であり、大切な神宝が遷されたことが暗号メッセージのように残されていたのです。[詳細は www.historyjp.com 参照] (文・中島尚彦)

カリフォルニアのおいしい水 アクアヴィル

AQUAVILLE

2ケースセット! 計48本
(1ケース 500ml ボトル 24本入)

2ケース 税・送料込 **1,830円**

フィットネスハウス

TEL 0476-89-3111

<http://www.fitnesshouse.co.jp>



成田の温泉

大和の湯

調理アシスタント
パート・正社員募集

[業務] 天然温泉施設内 レストラン 調理アシスタント
[資格] 未経験者・主婦・学生も歓迎
[時間] 9:00~22:00 (水曜定休)
週2日~、1日3時間~ ※応相談
[給与] パート/時給1,000円~ 正社員/月給20万円~
※正社員登用制度あり
[待遇] 駐車場あり、家族を当館へ無料優待
[応募] 下記へ電話連絡の上、履歴書を持参

〒286-0841 千葉県成田市大竹1630

TEL 0476-89-1777

e-mail: info@yamatonoyu.com (担当:採用係)

正社員・パート募集 充実の福利厚生!

①通販事務スタッフ 月給20万円~ 時給1,050円
お客様からの電話・メール等による注文や問い合わせに対応します。タイピングスキル必須。

②梱包・ピッキングスタッフ 月給20万円~ 時給1,050円
音響機器などの出荷業務 (梱入れ、梱包等)、男女共に活躍中、主婦の方も歓迎します。

③倉庫管理アシスタント 月給20万円~ 時給1,050円
最新鋭の設備が整った物流倉庫にて、入出荷管理業務を行います。大型免許取得者優遇。

④動画撮影ディレクター 月給32万円~ 時給1,400円
商品のプロモーション動画などの撮影・編集のディレクションを行います。経験者優遇。

⑤英文翻訳スタッフ 月給28万円~ 時給1,400円
楽器や音響機器のマニュアル、レビュー記事等の翻訳、海外からのメール対応などを行います。

①④ 平日 9:00~19:00/土曜 11:00~17:00 左記は一例、担当部署・業務により勤務時間は異なります。
②③ 平日・土曜 7:00~18:00 ⑤フレックスタイム制 (休日:日祝、期週土曜) **パートは週4日以上、1日4時間~応相談**

国内最大規模の楽器・音響機器ネット通販会社

サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL 0476-89-1777

e-mail: info@soundhouse.co.jp (担当:採用係)

WEB サイト案内

日本シティジャーナルをご覧いただきありがとうございます。本紙のバックナンバーは WEB サイトにてすべてご覧頂けます。連載中の歴史に関するコラムは最新情報に随時更新してスペシャルサイト「日本とユダヤのハーモニー」にまとめてあります。ご意見・ご要望等をお待ちしております、FAX やホームページからお寄せ下さい。

日本シティジャーナル: <http://www.nihoncity.com/>
日本とユダヤのハーモニー: <http://www.historyjp.com/>



編集後記

新年明けましておめでとうございます。大晦日から元旦にかけて全国各地ではお祭りが一杯! 今年は三重県神島のゲーター祭へ行くプランを立てたものの、旅程が合わず断念。皆様は年始のお参りは、いかがでしたか? 1月号のメインは WEB からのアクセスが最も多い「かごめかごめ」のリニューアルにチャレンジしました。当初の執筆より8年たった今振り返ってみると、意外にもその解釈と内容に大きなずれが生じていることがわかりました。改訂版はさらに、その真相に踏み込んでいます!

NCJ 編集長 **中島 尚彦**

1957年東京生まれ。14歳で米国に単身テニス留学。ウォートンビジネススクール卒業後、ロスアンゼルスにて不動産デベロッパーとして起業。ビジネス最前線で活躍する。1990年に帰国後、成田にサウンドハウスを立ち上げる。現在ハウスホールディングス代表、日本シティジャーナル編集長を兼務。趣味はアイスホッケーと読書。この数年は「日本とユダヤのハーモニー」の執筆に勤しむ。



大和の湯

成田の命泉

yamato-no-yu



のれんをくぐると
心安らぐ癒しの温泉

田園風景に囲まれたモダンな建物のれんをくぐった先は、安らぎの場所。旬の食材による様々な料理アロマセラピーなどの極上ケアそして、四季折々の景色に包まれた上質な温泉による癒しの時間…

12種類の内湯・露天風呂

大小合わせて4つの内湯と、天然岩やジャグジー、樽風呂などの8つの露天風呂がございます。極上の湯に浸りながら心身がほぐれる悠久のひと時をご堪能ください。

温泉と食事を楽しむ個室露天

お食事もお楽しみいただける、限定3室の露天風呂付き個室。記念日や家族との特別なひと時に特別な時間と空間をご提供いたします。ゆっくりとおくつろぎください。

景色と共にいただく、こだわりの寿司



紫苑 SHION 苑

リニューアル OPEN

展望寿司レストラン 3F

皆様に長くお待たせいたしました展望寿司カウンターを誇る「紫苑」が1月1日よりリニューアルオープンいたしました。熟練の板前による新鮮な魚介類を使った寿司や刺身御膳など、おいしいお食事をご用意しておりますので、温泉から上がった際にはぜひお立ち寄りください。

板長：菅原繁見
銀座 寿司栄で修業
東金の老舗料亭「八鶴亭」で
和食・寿司に従事

今美味しいモノを、ジャンル問わずにご提供



あじ彩 AJISAI

3F

おもてなしの心が生むやすらぎの空間にて、和食・洋食の垣根を越えて今一番旨い食材を使用した料理をお出しいたします。また、店内には日本各地のワインを取り揃えた自慢のワインセラーもございます。美味しい料理にマッチした最高の1本をご提供いたします。

※お食事処(紫苑・あじ彩)の休業日ご案内：1/20(水)、27(水)、2/3(水)、10(水)、17(水)

展望ロビー 2F

開放的で自然光が溢れる心地よいロビー。空が澄んだ日には、遠くに東京スカイツリーや富士山を望めます。



温泉上がりに、こだわり牛乳!

搾りたてのミルクの美味しさを最大限活かした千葉県内の生産者が搾ったこだわりの牛乳です。

房の恵み <パステライズ牛乳>

ロビーにて好評販売中!

YAYOIスパ 1F

体のケアと癒しをプライベートな空間で体験できるリゾート風スパ。至高のひとときを約束いたします。

《各種料金》

- ◆ボディ.....(30分)3,200円~
- ◆フット.....(15分)1,800円~
- ◆アロマ.....(30分)4,500円~
- ◆フェイシャル... (30分)4,000円~
- ◆フェイシャル (小顔コース).....(45分)5,500円~

フィットネス 1F

体のコンディショニングに最適なフィットネスセンター。最先端のマシンが豊富に導入され、心地よく汗を流して頂けます。

《ご利用料金》

- ◆ジム.....1,000円
- ◆ジム+プール...2,000円

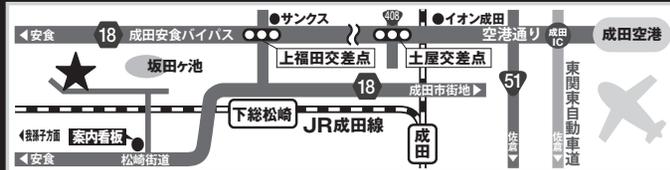
入館料 [平日]800円/[土日祝]1000円

※小学生の入館料：300円(大人同伴の入館の場合)

営業時間 10:00-22:00 未就学児の入館はご遠慮ください

※年中無休(全館禁煙)

TEL 0476-28-8111 千葉県成田市大竹1630



成田の命泉

大和の湯

yamato-no-yu

www.yamatonoyu.com